

データロガーの使い方について

はじめに

データロガーの取扱説明書にすべてのことが書いてあるので、よく確認してほしい。

1. 電源の付け方

右側側面に電源ボタンがついているのでそこを押す。

2. 操作方法

1. チャンネルの変更

正面右側に CH GROUP というボタンがある。ここでチャンネルの切り換えが行える。

2. MENU の開き方

正面右側の MENU ボタンを押すことで、各種設定が行える。MENU を閉じたい時には、正面右側の QUIT を押す。

3. SD カードにデータを書き込む

右側上部の SD カード挿入口を開き、そこに SD カードを入れる。次に、正面右下の START/STOP ボタンを押し、「収録を開始しますか？」と表示されているので、正面右側の ENTER を押す。収録を停止したい時は、再度 START/STOP ボタンを押し、「収録を停止しますか？」と表示されるため、ENTER を押す。

4. 各種設定

正面右側の MENU ボタンを押すことで、各種設定が行える。

1. 収録間隔の設定

何秒ごとにデータを更新するかなどの変更を行える。MENU を開き、カーソルを使って画面上部の DATA に合わせる。収録設定の項目にサンプリング間隔があるため、そこを変更する。

2. 測定種類の変更

データロガーでは、温度や湿度、電圧などのほかに、正しく設定を行えば室外機の流量や電力の測定が行える。ここではこれらの設定について記述する。

まず、MENU の AMP にカーソルを合わせる。そして設定したいチャンネルにカーソルを合わせ、各種設定を行う。

例えば、熱電対で温度を測りたい時には入力のカラムの設定を温度にする。そしてセンサカラムを変更するのだが、熱電対ごとに使うセンサが異なるため、取扱説明書やインターネットを参考にしてほしい。ちなみに、アルミニウムと銅の熱電対では TC-K を用いる。レンジは 100℃が読み取りやすいだろう。

測温抵抗体はセンサを Pt100 に合わせる。

流量や、電力量などの特殊な値を測るときには、入力を電圧にする。そして、EU を ON にし、設定を行う。ここで詳細な設定を説明することは難しいため、インターネットや説明書を見て設定してほしい。

3. 表示範囲の変更

表示範囲は MENU のその他のスパン設定で行える。